

登壇者プロフィール¹

開会・閉会挨拶



澤井 智毅

WIPO 日本事務所 所長

特許庁審査第一部長、審査第二部長、調整課長、国際課長、情報技術企画室長、知的財産研究所ワシントン事務所長（JETRO ニューヨーク知財部長兼務）、審査官、審判官等を歴任し、2019年より現職。特許庁では、特許制度改革、意匠制度改革、審査対策、審査基準改定、国際制度調和等を推進。現職にて、知財制度の普及啓発や日本政府、産業界、大学等との連携に注力。日本商工会議所知的財産専門委員会学識委員。監修「大人は知らない、今ない仕事図鑑 100」（講談社、2020）、監修「SDGsでわかる 今ない仕事図鑑ハイパー 自分の才能発見ブック」（講談社、2021）、著作「米国発明法とその背景～19世紀以来の特許制度改革～」(経済産業調査会、2012)等

¹ 講演順に記載しています。

来賓挨拶



濱野 幸一
特許庁 長官

昭和 6 3.	9	国家公務員採用Ⅰ種（法律）試験合格
平成 元.	3	東京大学法学部卒業
平成 元.	4	通商産業省入省
〃 6.	6	フランス留学（パリ政治学院等）
平成 1 9.	7	大臣官房秘書課人事企画官
〃 2 0.	1 1	大臣官房参事官（人事政策担当）
〃 2 1.	7	中小企業庁事業環境部財務課長
〃 2 2.	8	製造産業局産業機械課長
〃 2 2.	9	大臣秘書官事務取扱
〃 2 3.	1	中小企業庁事業環境部金融課長
〃 2 3.	1 0	大臣官房参事官（エネルギー政策担当）
〃 2 4.	1 0	資源エネルギー庁資源・燃料部政策課長
〃 2 7.	6	大臣官房会計課長
〃 2 8.	2	独立行政法人石油天然ガス・金属鉱物資源機構副理事長
〃 3 0.	4	独立行政法人石油天然ガス・金属鉱物資源機構 特命審議役
〃 3 0.	7	内閣官房内閣審議官（内閣官房副長官補付）
令和 2.	7	関東経済産業局長 兼地域経済産業グループ長
	4.	7 特許庁長官

基調講演 「多様性と包摂性についての世界の常識」(仮)

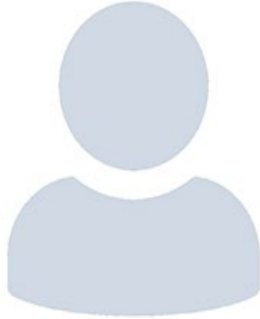


竹中 俊子

ワシントン大学ロースクール・慶應義塾大学法務研究科 教授

米国シアトルのワシントン大学ロースクールのワシントンリサーチフロンティア/W. ハンターシン普森技術法教授の称号を持つテニユア正教授。2016年からジョイントアポイントメントにより、慶應義塾大学大学院法務研究科の選任教授として知的財産権科目を担当。シアトルの Seed IP Law Group の顧問として、TMI 総合法律事務所の客員米国弁護士として所属。毎年、ストラスブール大学、リヨン III 大学、ドレスデン工科大学で比較知財法を集中講義で教えるとともに、ミュンヘン工科大学では、2016年～2018年に知財管理の講座を担当し、その貢献により 2018年12月に TUM アンバサダーの称号を授与される。2003年から2015年までワシントン大学ロースクールの先端知財研究所(CASRIP)の所長を務める。アメリカ、ヨーロッパおよび日本の特許制度を比較する著書多数。Oxford Journal of Intellectual Property Law and Practice の編集委員；2020年より内閣府知財戦略本部の構想委員会、2020年より特許庁の産業構造審議会知的財産分科会の委員を務める。

基調講演 「多様性とコミュニケーションの重要性」 (仮)
ビデオ出演

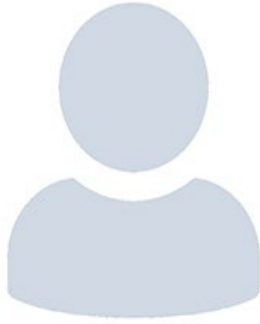


木村 弘毅
株式会社 MIXI 代表取締役社長

※確認中

特別講演 「FIFA 女子ワールドカップ連覇監督、そして企業経営者として思う多様性の重要性」 (仮)

ビデオ出演



Jill Ellis

The National Women's Soccer League San Diego, President

※確認中

パネルディスカッション

【多様性や包摂性が果たすイノベーションや知財への役割】

パネリスト



宮島 香澄

日本テレビ放送網（株）報道局 解説委員

1988年東京大学卒業。日本テレビ放送網（株）入社。1990年より報道局記者・ディレクター。厚生省（当時）財務省、経済産業省や民間企業を担当し、経済財政・社会保障・成長戦略・金融市場などを取材。2008年報道局解説委員。日本テレビ系列「ズームイン！！SUPER」「news every.」「news zero」ほかでニュース解説。財務省「財政制度等審議会」、経済産業省「産業構造審議会」、内閣府「知的財産戦略本部・構想委員会」、文化庁「文科審議会」、官邸「人生100年次代構想会議」などの審議会委員を歴任。

パネリスト



福島 りえこ

東京都議会議員 都民ファーストの会

1971年 東京都世田谷区生まれ、世田谷区新町在住

1989年 千葉県立船橋高校卒

1993年 東北大学理学部化学第二学科卒業、1995年 東北大学大学院理学研究科修了

1995年 (株)東芝に入社、研究開発センターに配属。

2010年 世界で初めて眼鏡がいらぬ3Dテレビを製品化、「全国発明表彰 21世紀発明賞」、「ウーマン・オブ・ザ・イヤ-2011大賞」他(後述)、多数受賞。

2016年 希望の塾に参加

2017年4月 都民ファーストの会の公認で2017年都議会議員選挙に世田谷区から出馬

2017年7月 70,471票を得て、トップ当選

2021年7月 43,096票を得て、再びトップ当選

現在、都民ファーストの会東京都議団所属の都議会議員(2期)、総務委員会副委員長、会派政調会代行として活動中。

定例会ごとの都政レポートの発行や、毎週の街頭活動など、都民の声を聞く活動も継続して実施。

受賞歴

2005年 第57回神奈川県発明考案展覧会/川崎市長賞

2005年 日本光学会/光設計優秀賞

2007年 映像情報メディア学会/技術振興賞 開発賞

2010年 発明協会/全国発明表彰 21世紀発明賞(第二表彰区分)

2010年 映像メディア学会/丹羽高柳賞(業績賞)

2010年 ウーマン・オブ・ザ・イヤ-2011／大賞

2011年 文部科学大臣表彰／科学技術賞（研究部門）

2011年 Women and the Economy Summit (APEC USA 2011)／APEC 女性イノベーター賞

2013年 日本液晶学会賞／業績賞（開発部門）

その他の活動

アエラが選ぶ「日本を立て直す 100 人」に選出（2012年）

電気通信大学 非常勤講師（2011-2015年）

社会福祉法人中央区福祉協議会 虹のサービス協力会員（2012-2013年）

文部科学省 ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ 女性研究者研究活動支援事業 評価委員
（2014-2016年）

日本女性技術者フォーラム 運営委員（2016-2019年）

婦人発明家協会 会長（2017年-）

パネリスト



星野 歩子

東京大学先端科学技術研究センター 教授

2006年東京理科大学理学部卒業、2011年東京大学大学院新領域創成科学研究科博士課程修了(生命科学博士取得)、2010年コーネル大学医学部小児科客員研究員として配属後、Postdoctoral Fellow(2011-2015年)、Research Associate(2015-2016年)、Instructor(2016-2019年)を経て、2019年よりコーネル大学医学部小児科非常勤助教。2019年東京大学 IRCN 講師、東京大学卓越研究員、さきがけ研究員(兼任)。2020年ニューヨーク大学タンドン工科大学 バイオインフォマティクス高度専門士(バイオインフォマティクス)の学位取得。2020年より東京工業大学生命理工学院准教授。2023年3月より東京大学先端科学技術研究センター教授。

パネリスト



藤田 和子

経済産業省 基準認証政策課 弁理士

広告代理店勤務後

国際特許商標事務所勤務

経済産業省 基準認証政策課に出向中

パネリスト

江黒 早耶香

シティユーワ法律事務所 弁護士

2008年 弁護士登録

2008年～2012年 弁護士法人曾我・瓜生・糸賀法律事務所

2009年～2011年 内閣官房国家戦略室

2012年～ シティユーワ法律事務所

(その他活動)

日本女性法律家協会幹事、日本弁護士連合会男女共同参画推進本部女性社外取締役に関するプロジェクトチーム委員、日本ライセンス協会広報委員会副委員長、経済産業省日本産業標準調査会総会委員、文部科学省科学技術・学術審議会技術士分科会委員